

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	220 子どもの未来支援事業									
戦略プラン						担当部課 係名	保健福祉部こども未来室			
総合戦略						新規・継続	新規			
						事業分類	任意的事務			
予算科目	01-030201-17 子どもの未来支援に要する経費					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間								
個別計画										
根拠法令						事業体制	職員のみ			
						市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>家庭の経済的な状況に左右されず、子どもたちが安心して勉強し生活できる環境づくりを推進し、貧困から貧困への負の連鎖を断ち切ることで、将来世代に貧困を継続させない仕組みづくりを行う。</p>					<p>・貧困世帯だけではなく、すべての子どもの支援に庁内が一体的に取り組むための庁内連携・情報共有を行うとともに、外部有識者を含めた懇話会を開催し、子どもの学習支援・居場所づくり等を推進する「こども未来プラン」を策定する。</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>「こども未来プラン」の策定</li> <li>教育局、こども部、保健福祉部が連携する庁内連携会議を8月、9月で3回開催する。</li> <li>外部の有識者を交えた、つくば市こども未来懇話会を10月から12月までに4回開催する。</li> <li>事業者向け学習支援マニュアルを作成・研修の実施</li> <li>庁内の支援情報を集約した支援状況一覧の作成</li> <li>子ども食堂支援事業補助金の交付</li> </ul>					<p>8月、9月 こども未来庁内連携会議開催（3回）            10月～12月 つくば市こども未来懇話会開催（4回）            12月 庁内の支援情報を集約した支援状況一覧を作成            2月 「こども未来プラン」を策定、公表            2月、3月 学習支援マニュアルを作成し、研修を実施</p> <p>・子ども食堂支援事業補助金を2団体に交付</p>					
成果					課題					
<p>庁内連携体制の構築、懇話会の開催、こども未来プランの策定により、子どもたちが安心して勉強し生活できる環境づくりを推進することができた。</p>					<p>庁内の情報だけでなく、学校の情報を含めた子どもに関する情報を網羅的に掲載する必要がある。</p>					
改善目標（R01年度にむけて）										
教育局や各学校と連携しながら子どもに関する情報を集約し、網羅的データベースを構築する。										
指標の推移										
1	指標名	子どもの学習支援実施か所数					( 場所 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	6.0	9.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	2.0	3.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	4,282	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	6,493	0	0
事業費計		(千円)	0	10,775	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	3.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	159.25		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	21,567		
事業コスト		(千円)	0	32,342		

R01年度当初積算根拠	・歳出 報償費1,220千円、旅費300千円、需用費266千円、役務費86千円、委託料432千円、負担金補助及び交付金25,570千円、扶助費900千円
	・歳入 生活困窮者就労支援事業費補助金8,750千円 特財 7,300千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		